

第 2 回「東京 2020 大会後の神宮外苑地区のまちづくり検討会」議事要旨 主な意見（案）

■ スポーツ拠点ということについて

〔遠藤委員〕

- 将来像の 1 つめの大規模なスポーツ施設の集積ということに対して、具体的な方針の考え方が示されていない。例えば、スポーツ施設と広場空間とをどう関係付けていくか。将来、どのような大規模なスポーツ施設の集積地区として、スポーツの魅力ある場所にしていくのかが見えない。
- スポーツ拠点としての質や、この場所がこういう建て替えをする中で、いかに国民のためのスポーツの拠点としての利便性や質が高まるのかということが大事だと思う。スポーツを将来像の 1 つとして明確に出していくのであれば、そういう観点から方針がまとめられてもいいのではないか。

〔伊藤委員〕

- どのようなユニークなスポーツ拠点になるのかというビジョンをもう少し見せていった方がよい。例えば、広場が真ん中にあるとしたら、施設と広場の関係がどうなるか。スポーツ施設の潮流は、まちに開かれた施設であり、公園と一体的に使うであるとか、試合がない時は開くとか、そういう考え方も重要ではないか。例えば、「スポーツ交流複合ゾーン」のところに、もう少し具体的なビジョンが見えるとよい。

■ 3 つの沿道の性質と「にぎわい」について

〔伊藤委員〕

- ゾーンで「沿道」という言葉が 3 つある。その中で、いちよう並木沿道は、市街地の沿道とは意味が違う。ここにカフェや宿泊施設が建て込んでくると実質的な市街化にならないか。いちよう並木とスタジアム通りの両方ににぎわいという言葉があるが、にぎわいの質がだいぶ異なる。にぎわいという言葉が適切なのか。

〔遠藤委員〕

- スタジアム通り沿道を「文化・にぎわい複合ゾーン」と位置付ける考え方が示されているが、文化という観点から、この場所での施設整備・誘導の考え方が見えていない。

〔下村座長〕

- 伊藤委員が指摘されたように、通りによってにぎわいの性質がだいぶ違う。いちよう並木を単純ににぎわいのエリアと位置付けていくのは問題が生じる可能性がある。もともと外苑は、聖徳記念絵画館を中心とした公園で、その景観的・構造

的なアプローチとしてのみどりの空間の位置付けは大きい。本来このエリアは、風致地区のA地域になっているし、再開発等促進区から外している場所だ。ラケット型という言い方をしている、ほぼ一体のものとして位置付けていた空間を分離してしまうのは、よほどしっかりした説明がないと問題になりかねない。絵画館と一体として考えられていた場所を、b区域と一体化したゾーニングにすることには怖さがある。

[港区]

- 港区景観計画ではいちょう並木に「にぎわい」という記載がない。十分に配慮してほしい。

[新宿区]

- スタジアム通り沿道で計画されている新国立競技場、日本体育協会・日本オリンピック委員会新会館、日本青年館・JSC本部棟、明治公園について、まちなみの連続性に配慮して検討を進めるよう景観まちづくり審議会でも意見が出されている。十分配慮して、検討を進めてほしい。

■「歴史」の重要性について

[下村座長]

- この地区の場合、いろいろな意味での歴史を集積してきているので、「歴史」をどう扱うかということをはっきりと言入れた方がいい。まちづくりの目標で入れるか、あるいは、将来像2の「風格」という辺りで組み込むのだろうか。なぜ歴史が消えているのかは気になるところだ。
- 公園としての歴史とスポーツ拠点としての歴史の2つがあることを、目標の辺りで書けるとよい。

■交通の方針について

[下村座長]

- 交通の方針が抜けている。このエリアの中で、車の問題や自転車の問題、歩行者の問題など、トータルに語った方がよい。駐車エリアや車の動線をどうするかは、本来、地区の方針としては重要だ。
- 歩行者ネットワークだけにするのか、歩行者と車を入れたネットワークとするか。車もイベントの有無により差が激しいので、そういう時の歩車分離のあり方などは書く必要があるのではないか。

[伊藤委員]

- 歩行者ネットワーク形成の方針はデッキの話が主になっているが、地上部の考え方も入れてほしい。

[新宿区]

- 区道の扱いについて言及がない。早い段階でゼロベースからの協議に入るようにしてほしい。

[港区]

- 港区の区道についても同じように検討してほしい。

■「高さ」の示し方について

[下村座長]

- 高さのことが具体的に出てくる。この辺りの出し方も難しい。新国立競技場が50mに抑えられた経緯もあるし、高さについては都民の反応も大きいと思う。緑との景観的な組み合わせ、あるいは絵画館辺りから見た時にどう見えてくるかという辺りを含め、考えていく必要があると思う。

[都市整備局]

- 高さの話だが、エリアが広く、ところによっては高低差もあるので、見せ方だが、建物の高さというよりはTP表示にするなど、工夫した方がよいように思う。

■防災の方針について

[都市整備局]

- 防災の方針は、将来的に全体ができた段階の話だと思うが、大規模施設を順繰りに整備するとなると工事期間が相当長くなると思う。このエリアが広域避難場所に指定されているので、その期間の対応をどう考えるかという辺りもなんらか記載しておいた方がいいように思う。

[新宿区]

- 今後の施設整備の中で帰宅困難者受入施設を確保できるよう、方針に盛り込んでほしい。

■その他

[都市整備局]

- 絵画館前の「みどり交流ゾーン」のところについて、中央は西洋庭園を復元し、その脇に建物も含めてスポーツ施設という話があった。どういうスポーツ施設が来るのかわからないが、みどり交流ゾーンになるような形にしてほしい。

[港区]

- 三角地帯の地元から、自分たちのところも合わせて考えてもらえないのかと意見

を受けている。

- 港区の上位計画を踏まえた上で、地域の課題やまちづくりの方向性を整理してほしい。いちょう並木と青山通りが景観形成特別地区なのでそれを踏まえて欲しい。一方、スタジアム通りはにぎわいを持たせるようにしてほしい。
- 地権者検討では港区側にはみどりやオープンスペースが少ないので、その辺りは考慮してほしい。
- 港区ラグビー祭りや、郡上まつりといった地域のにぎわいに配慮してほしい。
- エリアマネジメントについては、3区が連携し、誰がどう主導していくのか整理してほしい。

【新宿区】

- 高木については道路沿いだけでなくオープンスペースにも積極的に確保してほしい。オープンスペースは、地区内のさまざまなところから地域住民が散策できるよう緑豊かな空間を確保してほしい。

【渋谷区】

- この地区では自転車やセグウェイなどの利用は認められるのか。場合によっては幅員構成の見直し等も含めて、自転車等の走行空間をきちんと確保することが、歩行者の安全に繋がるのではないか。
- 今以上の歩行者が想定されると認識されるのであれば、地区外の密接関連事業として事業者と道路管理者が協力しながら、場合によっては開発者負担の考え方を導入することなども考えられる。